

# あいさつ



京都府スポーツ推進委員協議会

会 長 森 本 豊

京都府スポーツ推進委員協議会は平成24年4月1日を以て、設立50周年を迎えることになりました。この度、設立50周年記念事業として「記念誌」を発刊できますことは、会長として誠に喜ばしく、本協議会を組織していただき、日頃から地域スポーツの推進に御尽力いただいております各市区町村のスポーツ推進委員の皆様へ深く感謝申し上げます。

会長を前任の川隅富士夫様から平成22年度に引き継いで2期3年目となりました。その間、常任理事会に全6ブロックから選出理事の参画を進め、府研究大会の内容の充実等を図り、今年度は、常任理事に女性委員長を任命し、常任理事会に女性が参画する体制づくりをしました。また、この50周年という節目の年の5月に中ブロックの代表者会議を亀岡市湯の花温泉で開催し、3月には近畿スポーツ推進委員研究協議会を京丹後市で開催いたしました。

6月の府研究大会では、設立50周年記念大会として南丹市で開催、記念講演と歴代のブロック会長に対して感謝状の贈呈をさせていただきました。そして、3月中旬に祝賀会を催して皆さんと喜びを分かち合い、この機会にスポーツ推進委員50年の歩みを振り返り、生涯スポーツ社会を実現するため、先の50年を見据えられたらと思います。

平成23年8月にスポーツ基本法が施行され、スポーツ推進委員の任務の幅が広がり、地域のスポーツを推進するためのコーディネート力の発揮が問われています。住民のニーズを探り、既存の体育・スポーツ団体等と連絡調整を図り、地の利を生かして子どもから高齢者まで、幅広い年齢層を対象とした実践が要求されています。このような時代の要請の中で、各市区町村のスポーツ推進委員の皆様には、これまでの活躍と実績に裏打ちされた資質のさらなる向上と地域の活性化に大きく寄与されることを期待しております。

終わりにあたり、今日まで本協議会の歴史を築いてこられ、様々な立場で御貢献を賜りました多くの諸先輩方に敬意を表しますとともに、記念誌の発刊に御尽力をいただきました関係各位に感謝を申し上げまして、発刊の御挨拶とさせていただきます。

# 祝 辞



京都府知事 山田 啓二

京都府スポーツ推進委員協議会が設立 50 周年を迎えられましたことを心からお祝い申し上げます。

貴協議会におかれましては、昭和 37 年の設立以来、今日まで府内のスポーツ振興の推進を図ることを目的とし、各種のスポーツの普及と水準の向上に努められるとともに、スポーツ推進事業を実施するコーディネーターとして、多くの役割を果たしてこられました。また、各種の研究会や研修会を通して、スポーツ振興の担い手であるスポーツ推進委員の資質の向上と相互の連絡調整を図るとともに、地域住民のみなさんの健康づくりを支えると同時に、京都府のスポーツ振興に大きく寄与していただいているところであり、御熱意と御努力に心から敬意を表します。

京都府といたしましては、スポーツ振興計画を定め、男性も女性も、高齢者も子どもも、あるいは、障害があっても、だれもが生涯の各時期にわたって、それぞれの年齢や体力、目的に応じて、いつでも、どこでも、主体的にスポーツに親しむことができる「生涯スポーツ社会」の実現を目指していくとともに、京都のスポーツの未来を切り拓く新しい拠点づくりとして、府立体育館、府立運動公園など、スポーツ施設の整備充実に取り組んでおり、今後とも、府民の皆様が夢を持てるスポーツ振興施策を積極的に進めてまいりたいと考えております。

生涯スポーツ社会を実現するためには、府民生活の中にスポーツが根付くとともに、スポーツに親しむことを通して、人々の絆を強めていくことが重要であり、スポーツ推進委員協議会におかれましては、今後もスポーツの振興を要とした、スポーツを通じた豊かで活力のある地域社会の構築に一層御貢献いただくことをお願い申し上げます。

終わりに、この栄えある 50 周年を迎えられた京都府スポーツ推進委員協議会のますますの御発展とスポーツ推進委員の皆様方の御健勝を心から祈念し、お祝いの言葉といたします。

# 祝 辞



京都府教育委員会

教育長 田原 博明

京都府スポーツ推進委員協議会が、設立 50 周年を迎えられ、記念事業の一環として記念誌を発行されますことは、誠に有意義なことであり、心からお喜び申し上げます。

スポーツ推進委員の皆様には、昭和 36 年のスポーツ振興法制定で、体育指導委員（現スポーツ推進委員）がわが国のスポーツ振興の中核と法的に位置づけられて以来、地域におけるスポーツ振興・推進に寄与されてこられました。また、貴協議会にあっては、本府における「生涯スポーツ社会」の実現を目指して、スポーツ推進委員の資質向上と組織の充実・強化、相互の連絡・調整を図るため、様々な研修事業を効果的に実施されておりますことに、心から敬意を表する次第です。

京都府教育委員会といたしましては、「京都府スポーツ振興計画」を策定し、だれもがライフステージにわたって、それぞれの年齢や体力、目的に応じて、いつでも、どこでも、主体的にスポーツに親しむことができる社会の実現を目指しています。そのためには、性別や年齢にとらわれず、障害を持つ人も持たない人も、だれもが生涯にわたり、様々な方法で、日常的にスポーツに親しむ環境づくりを進めたいと思います。

これからの時代、スポーツ推進委員の皆様には、人と人との絆、地域のつながりを大切にし、普段は運動・スポーツに親しみのない方々にも参加してもらえるような事業の展開をしていただき、子どもから高齢者、障害者にいたるまで、全ての住民が展望のもてる社会の構築に寄与していただけるものと期待いたしております。

最後になりましたが、記念誌の発刊に御尽力をいただきました関係の皆様には敬意を表しますとともに、京都府スポーツ推進委員協議会のますますの御発展とスポーツ推進委員の皆様の御活躍と御健勝を心より祈念いたしまして、お祝いの言葉とさせていただきます。

# 祝 辞



公益社団法人 全国スポーツ推進委員連合

会 長 齊藤 斗志二

このたび、京都府スポーツ推進委員協議会が設立 50 周年を迎え、その節目として「設立 50 周年記念誌」を発刊されましたことは、まことに喜ばしく、意義深いことであり、全国スポーツ推進委員連合を代表して、一言お祝いの言葉を申し上げます。

生涯にわたりスポーツ活動に親しむことは、体力向上や健康増進にとどまらず、明るく豊かで生きがいのある生活を営む上で極めて重要なものであります。京都府スポーツ推進委員の皆様が、協議会設立以来、地域住民の身近な公的スポーツの指導者として、長年にわたり地域スポーツの振興・発展に寄与されてきたことに対しまして、深く敬意を表する次第であります。

京都府は、スポーツ振興政策を一層推進するために、「生涯スポーツ社会実現プラン」を策定されていると伺っておりますが、文化と歴史の街京都において、その特性を生かした形で、明るく活力に満ちた地域スポーツが積極的に展開されているのではないかと存じます。

平成 23 年 8 月に施行となった「スポーツ基本法」により、従来の体育指導委員の名称が「スポーツ推進委員」へ変わりました。また、全国体育指導委員連合は、平成 24 年 4 月をもって「公益社団法人全国スポーツ推進委員連合」として再出発し、今まで以上に地域スポーツの総合的な推進に向けた貢献ができるよう、新たな取り組みを開始しております。

このような変革期に京都府スポーツ推進委員協議会は設立 50 周年を迎えられたわけではありますが、本誌の発刊を機に、50 年にわたってさまざまな課題に取り組んでこられた京都府スポーツ推進委員の皆様の活動を振り返り、その経験と実績を土台として、地域スポーツのさらなる発展、活性化に向けた積極的な取り組みが展開されることを期待いたします。

最後に、京都府スポーツ推進委員協議会の今後の益々の御発展並びにスポーツ推進委員の皆様の御活躍と御健康を祈念いたしまして、発刊への御挨拶とさせていただきます。